



Child Needs Home

令和 3 年度 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)
年間報告書

教育支援事業



ミャンマーでは、6月から学校が始まるのですが、2020年、コロナ感染の影響でなかなか始まらず、子ども達は、7月から9月の中の1ヶ月間だけ学校に通えただけで、ほとんど学校に通っていませんでした。感染するのが恐くて学校に通えなかった子どももいます。2021年2月1日にクーデターが起こり、教員達が市民不服従運動に参加し、次々に逮捕されていきました。逮捕から逃れるために、市民不服従運動に参加した教員はひっそりと暮らさなければいけませんでした。教員が1割程度しかいない中、軍は強引に学校を再開したのが2021年6月でした。しかし、多くの親は軍が支配している学校に子どもを通わせないと決めました。学校に行くと村の人から、軍に従うのかという白い目で見られます。子どもは学校に行きたくても学校に通うことができませんでした。軍は強引に学校を再開しましたが、2021年7月頃からコロナ感染者が急増し、閉校となりました。11月頃から再開しましたが、やはり学校に通う子はいませんでした。2021年2月にクーデターが起きて、1年経ちました。軍による弾圧は続き、状況は変わりませんが、人々は少しずつ元の生活に戻るようになってきました。活動地チャイントンはシャン州に位置しています。シャン州は比較的、軍との戦いが少ない地域です。2022年6月から子ども達は学校に通うことになりました。2年間学校に通えておらず、その間に結婚し学校に行くのを諦めた子もいます。働き始めた子もいます。コロナやクーデターで学校が機能していないため、児童養護施設で勉強した方がよいと考え、児童養護施設に住み始めた子もいます。コロナ感染拡大やクーデターは多くの人々の人生を変えてしまいました。この2年間、学校が正常に再開するのを我慢して待っていた子ども達に少しでも報いのある教育がなされることを願います。

学校に通えない間、子ども達の生活支援（お米、油、卵の配給）して頂きありがとうございました。



緊急支援

コロナやクーデターが起こる前はミャンマーの国全体の貧困層は 24% でした。コロナ感染の流行やクーデターが起こり、2022 年には、50% にあたる 2500 万人が 1 日約 2 ドル以下の生活を強いられる貧困層となりました。政変により観光業の低迷、大規模建設事業の停止などに伴い、仕事がなくなり、中間層が一気に貧困層となりました。仕事がないため、バイクや家を売ったり、貯蓄を切り崩したりして生活をしています。

国連人道問題調整事務所によると

2022 年 国民全体の人数：5400 万人 貧困層：2500 万人

人道支援を必要とする人数：1440 万人 人道支援の対象者：620 万人 となっています。

人道支援を対象とする人が 1440 万人いるも関わらず、対象となっているのが 620 万人ということは、820 万人に人道支援が届いていないということです。



少しでも生活の足しになればと考え、ヤンゴンでお米の配布を行いました。



ボランティアでお米の配布を手伝って頂いた方々です。人道支援を行っているとな国軍に逮捕されます。安全のため顔をお見せできないのですが、ご了承ください。逮捕されるかもしれない状況下で、活動を行って下さった方々に感謝致します。

緊急支援



ヤンゴンでお米の配布2回実施しました。食料をより必要としている人を見つけるため、配布前に日雇い労働者の多い地域に出向き、事前調査を行いました。番号札を渡し、お米の配布する際に持ってきてもらうことにしました。

お米がついた家族もあり、雨の中でも、お米を貰いに来てくれました。合計120世帯、約600人が1ヶ月食べられるお米20キロを配りました。お年寄りが多い家族には油も配布しました。

困っている人はたくさんいるので、お米を配る資金があれば、お米の配布を行いたいというスタッフの強い気持ちがあり、お米の配布に至りました。国軍は人道支援をしている車も襲います。軍に捕まらないように数人ずつ違う車に乗り、行きと帰りの車を別の車で帰るという方法をとりました。

緊急支援

コロナ感染拡大について、21年7月初旬から徐々にコロナ感染者が増え始め、ピークが7月21日では新規感染者6093名となりました。コロナ感染者増加のため、国軍は7月17日から9月中旬まで祝日とし、仕事などで外出することがないようにしました。9月上旬から感染者は少しずつ減少しています。祝日が続いたことで経済はさらに悪化しています。

2021年2月1日にクーデターが起きました。翌日には医師や看護師が市民不服従運動を開始しました。市民不服従運動とは、公務員（医療従事者、教師など）が仕事をしないで、軍に服従しないというメッセージを表す運動です。当時は、医療従事者が不服従運動をすると軍も早々に引き下がるだろうと考えていましたが、それほど甘い相手ではありませんでした。不服従運動に参加した人々は逮捕され、殺されていきました。そのため、不服従運動に参加した公務員は身を潜め生活することになりました。医師や看護師が不足している中、コロナ感染者はどんどん増えていきました。治療を受けられず亡くなった方も多くいました。酸素を求めて、市民が酸素ボンベ販売店に向かうと軍の圧力で店が閉められて買えないこともありました。火葬場が足りず、ゴミ焼却場の焼却炉の中で火葬されることもありました。

国軍に空爆され村を焼かれた人々は国境のジャングルで生活しています。ある地域では、14の避難民キャンプができました。避難民キャンプでは検査キットがありませんでした。嗅覚、味覚障害を発症する人が多く、症状からコロナ感染していると考えられました。

避難民キャンプでコロナ感染が拡大しており、酸素濃縮器が必要で、14のキャンプに1台ずつ酸素濃縮器を設置したいという要望があり、2021年8月8日酸素濃縮器（発電機含む）1台分の180万ks（約126,000円）を寄付させて頂きました。



継続生活支援



学習支援を行っている子どもの親戚で戦火から逃れてきた避難民がいます。

学習支援をしている子どもは小さな家に家族3人で住んでいましたが、戦火から逃れた親戚5人が住むようになりました。8人で生活しています。子どもの父親は寝るところがなくなり、今はキッチンで寝ているそうです。仕事がなく、食べるものもままならない状況でしたので、父親から支援要請があり、お米の量を増やして対応しています。

母親は看護師で、市民不服従運動に参加しました。市民不服従運動に参加したため、軍に逮捕されるおそれがあり、身を隠して生活しています。クーデターやコロナ感染の影響を受け、夫も仕事ができなくなり支援要請があり、8月からお米の配給を毎月行うことになりました。2022年4月には彼女は国境沿いのタチレイクという場所で眼科のクリニックで働くことになり、8ヶ月間で支援終了となりました。軍に捕まることなく、家族が幸せに生きていけることを願います。



コロナの影響を受け、仕事がなくなった家族の支援を行っています。皆様のおかげで赤ちゃんは元気にすくすく育っています。

チャリティーバザー

講演活動や NGO 活動に関するイベントへの出展を行い、ミャンマーの現状について多くの人に知ってもらう活動を行っています。



メディアでは報道されなくなり、安全な国と勘違いしてしまうこともありますが、2022年5月31日、日本の東京のような町であるヤンゴンの繁華街近くのスーレーパゴダの近くで爆発が起き、2人死亡しました。カイン管区でも相変わらず焼き討ちをされ、避難民がたくさん出ています。

(Khit Thit Media 6/5 付け)

①避難民数⇒1,210,864

国軍による

②殺害者数⇒3,165人

③拘束者数⇒16,251人

④焼き払われた住宅数⇒19,635棟(400村と86Township)

『軍に焼き払われた上位5位の地域』

ザガイン管区：1位(1,2687棟) マグエ管区：2位(4,304棟)、
チン州：3位(1,376棟)、カヤー州：4位(360棟)、シャン州：5位(329棟)



令和3年度 収支計算書

	令和3年度決算	令和2年度決算
I 経常収入の部		
1 会費収入	50,000	65,000
2 事業収入	602,000	701,400
3 寄付金収入	161,600	44,000
4 助成金等収入	0	0
5 その他収入	31,412	9
当期経常収入合計	845,012	810,409
II 経常支出の部		
1 事業費	994,452	220,532
1)教育支援 事業	285,638	183,769
2)保健教育事業	0	14,605
3)職業訓練事業	0	0
4)フェアトレード事業費	0	9,258
5)国際理解事業費	0	0
6)緊急支援	626,366	0
7)継続生活支援	82,448	12900
2 管理費	73,286	123,039
1)給料手当	0	0
2)会議費	0	0
3)旅費交通費	11,560	890
4)通信費	12,870	13,217
5)ホームページ管理費	9,220	11,604
6)運搬費	16,345	18,121
7)消耗品費	0	0
8)印刷代	5,809	5,241
9)印刷製本費	0	0
10)雑費	17,482	13,642
11)備品	0	60,324
3 予備費	0	0
1)予備費	0	0
当期経常支出合計	1,067,738	343,571
当期経営収支差額	-222,726	466,838
III その他資金収入の部	0	0
その他の資金収入合計	0	0
IV その他資金支出の部	0	0
その他の資金支出合計	0	0
当期収支差額	-222,726	466,838
前期繰越収支差額	2,712,265	2,245,427
次期繰越収支差額	2,489,539	2,712,265

活動の支援の方法

【皆様のご厚意の下、アジアの子どもたちに教育を届ける活動に励んでまいります。】

支援方法は、①会員制度 ②チャイルドスポンサー制度 ③マンスリーサポーター制度 ④寄付
の4種類があります。

①会員制度

□正会員 5000 円 □学生会員 3000 円 （主に管理費などに充てられます）

②チャイルドスポンサー制度

・ 寄付金額 （子ども一人当たり/月々） □3000 円 □4000 円 □5000 円
（支援金は対象の子どもの学費に充てられます）

③マンスリーサポーター制度

・ 一口 月額 1000 円からのご支援

（貧困家庭では、学費の支援だけでは人身売買に巻き込まれます。勉強ができる環境を整えるために支援金は主に医療費や養育費に充てられます。）

④寄付

★会員や寄付はこちらの口座にお振込み宜しくお願い致します。

ゆうちょ銀行からのお振込み

振込先「郵便振替口座」口座番号 00870-3-110656

加入者名:Child Needs Home

ゆうちょ銀行以外からのお振込み

振込先「郵便振替座」預金種目：当座

口座番号：0110656

店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）店 089

加入者名：Child Needs Home



★チャイルドスポンサー制度、マンスリーサポーター制度にお申し込みの方は事務所にご連絡ください。

お問い合わせ：Child Needs Home

Tel：070-5031-4728 Email: childneedshome@gmail.com

URL: <http://www.childneedshome.jp/>



Child Needs Home

アジアの子どもたちに教育支援、自立支援を行う団体です

あなたの力で子どもたちの道は開けます